

科 目 名	生涯発達心理学Ⅱ（成人期～高齢期）					開 講 キャンパス	神 園
担 当 者	長 野 恵 子						
開 講 年 次	1	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	発達を捉えるにあたっては、生涯にわたって変化を遂げる人のあり様を質的な視点から理解する必要がある。本講では成人期、中年期、高齢期、超高齢期にわたる心理的な変化と発達課題について具体的なエピソードをまじえて概説する。子どもの健やかな成長を見守る役割を持つ親世代、祖父母世代、教師等の支援者がいかに歳を重ね、その途上でどのような心理的危機があるのかについて理解を深めていく。						
授 業 の 到達目標	1) 成人期・高齢期の加齢変化を説明できる。 2) 成人期・高齢期の心理的課題について理解し説明できる。 3) 成人期・高齢期の人間関係・家族関係の特徴について理解し説明できる。 4) 高齢期における認知症について理解し、説明ができる 5) 成人期・高齢期の人の心理的危機とその体験について関心を持つ。 6) 介護をめぐるストレスについて関心を持ち、その対応について自分とのかかわりの中で考えることができる。 7) 高齢期の死をめぐる問題について関心を持ち、自らを省み考えることができる。						
学 習 方 法	講義を中心とし、DVD視聴、グループディスカッションを取り入れる。						
テキスト及 び参考書等	テキスト：「よく分かる発達心理学(第2版)」無藤 隆他編 ミネルヴァ書房 参考書：「エピソードでつかむ生涯発達心理学」岡本祐子・深瀬裕子編著 ミネルヴァ書房						
評 価 基 準 ・ 方 法	到達 目 標						評価割合%
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等	◎	◎	○			60	
宿題・授業外レポート	◎	○	◎			20	
授業態度			◎			5	
受講者の発表	◎		○	◎		10	
授業への参加度			◎			5	
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	生涯発達における成人期以降の発達						
第 2 週	成人初期（仕事と働く意味）						
第 3 週	成人初期（恋愛と結婚）						
第 4 週	成人初期（親になることと子育て）						
第 5 週	中年期（中年の危機とは）						
第 6 週	中年期（配偶者との関係性の変化）						
第 7 週	中年期（子離れと親の介護）						
第 8 週	高齢期（加齢による心身の変化）						
第 9 週	高齢期（現代の高齢者を取り巻く家族関係）						
第 10 週	高齢期（高齢期の生きがいと幸福感）						
第 11 週	高齢期（認知症をどう考えるか）						
第 12 週	高齢期と人生の回顧						
第 13 週	高齢期の介護とストレス						
第 14 週	生と死に向き合う						
第 15 週	生涯にわたる発達とは						
第 16 週							
備 考	レポート課題は宿題として、授業内で DVD を見て学んだ点を踏まえた感想について、ならびに授業中に出された課題について A 4 サイズ 1 枚程度の分量で書くものである。また、授業中に指示された教科書の箇所や配布された資料等は、次回の授業のためにあらかじめ読んでくること。						